

IV 参考資料

市報さど 令和7年7月号

土・日も、少人数の集まりもOK!

消費生活センター 出前講座のご案内



消費生活センターでは、消費生活相談員を講師として無料で派遣する出前講座を実施しています。昨年度は市内12会場で開催し、300人以上の方に参加いただきました。地域や学校、職場で行事、研修、勉強会などをされる際にぜひご利用ください。

テーマ例

- ・最近の消費者被害の実例
- ・特殊詐欺や悪質商法の撃退法
- ・高齢者のスマホトラブル

受講された皆さんの声

- 巧妙な詐欺の手口があることを知り、気を付けたと思った。
- 具体的な話が多く、参考になった。
- 「佐渡は離島だから」と油断してはいけなかったことがわかった。
- 日曜日も出張して講義していただき、ありがたい。

主催者の方は、受講者の募集と会場の手配をお願いします。
開催の日時、時間(20分～1時間程度)、テーマなど、できるだけご要望にそった内容で実施します。
詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ 消費生活センター ☎57-8143 受付時間(平日) 午前9時～午後4時



さど

2025/令和7年

8月号

Sado City No.258 August
Public Relations

佐渡市内で詐欺被害が急増

半年間の被害額 約3500万円

※佐渡警察署に被害届が提出されたもの

被害相次ぎ

佐渡市が注意喚起

すぐにATMへ行ってください

あなたの口座が犯罪に使われています

電子マネーで送金して

■SNS型投資詐欺
佐渡市の60代男性が、約300万円をたまたま男性は、SNSで架空の投資が複数回に分けて行われ、投資を投資グループとなくなくなった。

■還付金詐欺
佐渡市の60代女性は、佐渡市職員を名乗る男から「介護保険料の還付を知らせて文書が届いていないか」との電話を受け、指示されたお金の振り込みを約400万円を振り込んだ。

■ニセ警察詐欺
佐渡市の60代男性の携帯電話に「犯罪の被害者である」といふ電話があり、お金の振り込みを指示された。翌日には男性の写真が送り付けられた。男性は複数回に分けて指定された口座に計約1500万円を振り込んだ。

■ロマンス詐欺
佐渡市の60代男性が「外国に住んでいる女性にお金をたまたま取られた」といふ電話を受け、お金の振り込みを指示された。翌日には女性と知り合いの女性から「入国手続をスムーズにするためにお金を振り込んでほしい」といふ電話を受け、お金の振り込みを指示された。個人情報を提供した。

■パソコンサポート詐欺
佐渡市の80代男性が自宅パソコンを操作中、音声とともに画面が停止し、画面に表示されたサポートセンターに電話で問合せると「コンピュータウイルスの感染した」といふ理由で、ソフトの購入が必要とされ、指示されたお金の振り込みを約600万円を送金したが、その後も送金するよう指示があったため警察に相談した。

あなたは大丈夫ですか？危険度チェック

- ①どんな相手からの電話でも、最後まできちんと聞く
- ②気軽に相談できる人が身近にいない
- ③いつも情報収集しているので、だまされない自信がある
- ④健康面の不安、経済的な不安がある
- ⑤周りの人に迷惑をかけないように心がけている



結果は2ページへ

あなたは大丈夫？

佐渡市内で詐欺被害が急増中！

注意！

表紙のチェック結果

①～⑤で、当てはまる項目が多い方は、だまされやすい傾向があります

①どんな相手からの電話でも、最後まできちんと聞く

在宅中でも留守番電話に設定し、非通知の番号や知らない番号からの電話には出ないようにしましょう。電話の途中でも「関係ありません」とはっきり断り、電話を切りましょう。断ることは失礼ではありません。



②気軽に相談できる人が身近にいない

詐欺の犯人は、周囲に相談相手がいない状況をねらっています。「急いでください」「今だけです」などと迫ってきたら、断りましょう。



③いつも情報収集しているので、だまされない自信がある

被害にあった人は「自分だけはだまされないと思っていた」と言います。犯人は「だましのプロ」。新しい手口で巧妙に仕掛けてきます。「自分もねらわれている」という警戒心を忘れてはいけません。



④健康面の不安、経済的な不安がある

多くの人が抱える健康問題や経済的な不安につけ込んでだまそうとします。「甘い言葉には裏がある」と肝に銘じましょう。



⑤周りの人に迷惑をかけないように心がけている

「家族に迷惑をかけたくない」「自分の失敗を知られたくない」という心理を利用して、周囲に相談させないようにします。「自分も悪いから…」などとためらう必要はありません。必ず相談しましょう。



電話やメール、SNSでお金のお話をされたら…

- ①あわてず、落ち着いて 相手の会社名や名前を確認
- ②いったん電話を切る（連絡を止める）
- ③お金を用意する前に、家族・親族・信頼できる知人、警察や消費生活センターに相談する



絶対にお金を振り込んだり、手渡したり、送ったりしてはいけません！

佐渡警察署 生活安全課からのメッセージ

佐渡市内で、特殊詐欺の被害が増加しています。
電話で「ATMで手続きをすれば、払いすぎたお金が戻る」「電子マネーを購入して番号を教えて」などと言われたらそれは詐欺です！
また、最近では警察を騙り、「あなたの口座が犯罪に利用されている」などと言って捜査を名目にお金をだましとる手口も確認されています。
こうした詐欺の電話の多くは海外から国際電話でかかってきているため、海外からの電話を受ける必要がない方は、国際電話の利用を休止することが対策として有効です。固定電話・ひかり電話が対象で、申込みは簡単・無料です。
詳しくは、国際電話不取扱受付センター（☎0120-210-364）生活安全係
もしくは佐渡警察署にお問い合わせください。



佐渡警察署生活安全課
生活安全係
橋本 係長

各種詐欺の手口は、佐渡市消費生活センターのホームページに掲載しています。




独立行政法人 国民生活センターが開設している消費者トラブル FAQ サイトは相談料や予約なども不要で24時間いつでも利用できます。ぜひご利用ください。



↓コピーするかメモして、ご自宅の電話のそばに貼っておきましょう！

お金の用意をする前に相談！困ったらまず電話！

佐渡市消費生活センター ☎ 57-8143

消費者ホットライン  ☎ 188

佐渡警察署  ☎ 55-0110

お問い合わせ 市消費生活センター ☎ 57-8143